

【長野市観光振興計画 令和4年度 年次事業計画】

資料1-3

[令和4年度 目標値] (長野市振興計画概要版 5ページ)

	観光による地域への経済波及額(億円)	一人当たりの観光消費額(円)			市内宿泊客数 ※2		観光入込客数(千人) ※2			
		全体	宿泊客	日帰り客	総宿泊者数(千人)	外国人宿泊者数(人)	全市	善光寺	戸隠	松代
基準値 ※1	784	11,991	20,280	6,621	1,570	103,599	10,706	6,436	1,482	545
令和4年度成果指標	1,008	12,111	20,483	6,687	1,414	50,762	13,629	10,945	1,176	328

※1 基準値は、平成29年度～令和元年度をコロナの影響のない平常年と捉え、この期間の平均値としています。
 ※2 「市内宿泊客数」及び「観光入込客数」は、令和2年度の実績から令和6年度の中間年で基準値まで戻すこととしています。
 全市及び善光寺は善光寺御開帳の増加見込み分707万人(前回御開帳参拝客総数)を加えています。

[各地域における実践プロジェクトの事業実施計画] (長野市振興計画概要版 10ページ)

地区名	実践プロジェクト	具体的な実践内容	年間スケジュール			
			6月	9月	12月	3月
善光寺	善光寺界隈と中心市街地の周遊を促進するため、様々な観光関連事業者と連携し、周遊促進コンテンツを開発するとともに、周遊を促す仕組みを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ○まちあるきを軸とした「着地型コンテンツ」の開発・販売プロジェクト ・長野市中心街にある、古民家リノベーションのカフェ、裏路地めぐりといった資源を活用し、ガイドや体験等の付加活をつけた収益性のある商品の販売 ・地域人材とのつながりや歴史、伝統、文化などを活かし、若者層をターゲットに訴求できるコンテンツを開発し、SNS等活用し広く発信する →『善光寺のお坊さんによる39のおすすめ』住職出演による動画を制作し、YouTube等で発信しており、それらを活用した人を訪ねる旅などのコンテンツ作成 →前計画の善光寺部会で実施した『リアル七福神』によるおすすめの店舗を発信 →善光寺御開帳期間中運用する、デジタルマップ(Stroly)の効果検証するとともに、滞在時間、場所等のデータを分析し、今後のプロモーションに活用する。 	情報発信・体験ツアー実施・販売 コンテンツ開発			
戸隠・飯綱高原	戸隠を持続的で長期滞在に適した観光地にするため、長期滞在を可能にする仕組み(分散型宿泊、連泊プラン、ワーケーション等)を構築するとともに、戸隠ならではの観光資源の特徴を活かした観光コンテンツを開発することで、戸隠ファンを増やし、リピーターの確保につなげる。飯綱高原の自然を活かしたアウトドアコンテンツ開発を中心に進めるとともに、戸隠や他地域への周遊を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○戸隠ならではの自然、歴史、文化を活用した滞在型コンテンツの造成 ・自然、景観、文化、歴史を訪ねる旅と長期滞在させる観光スタイルに繋げる →「早朝お掃除体験&正式参拝ツアー」や「戸隠古道を活用したガイドツアー」などのコンテンツの造成 →「早朝バードウォッチングツアー」や「かやぶき屋根体験ツアー」など繋ぎ合わせて魅力的な長期滞在を促す ○Eバイクの戸隠-飯綱相互乗り捨てを活かした宿泊客獲得プロジェクト ・戸隠と飯綱高原を連携したEバイクコースを構築し、それぞれの地域資源を活かした長期滞在の仕組みの構築 ・宿泊施設と連携して、Eバイク関連コンテンツなど高付加価値化した宿泊プランを売り出す ・戸隠キャンプ場では、バンガロー等でワーケーションとEバイクを活用したサイクリングコースの構築 ・飯綱高原では、「森の駅Daizahoushi」の魅力やSNS等で情報発信。地域の資源を活かした地産野菜を取り入れた飲食プラン、ガイド付きで里山の暮らし体験(農業体験)をバックとした観光コンテンツの検討 	■戸隠 プラン構築 情報発信・体験ツアー実施・販売 ■飯綱高原 情報発信 体験ツアー実施・販売 ■Eバイク コース整備 体験ツアー実施・販売			
松代	松代荘などに宿泊する観光客がまちを周遊し、滞在時間を延ばすこと(買い物や食事)で、地域における観光消費につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ○まちなか周遊Eバイクツアーの宿泊パッケージプラン販売プロジェクト ・松代の自然や絶景、杏や長いも畑で地元農家と触れ合う収穫体験、名物ガイドによるガイドなど、地域の人と触れ合うEバイクツアーと宿泊施設と連携した販売を行う。 →グルメ、歴史などテーマごとにコースを設定するなど、新たな商品の造成についても検討する。 ○文化財施設を活用した飲食コンテンツ開発プロジェクト ・伝統文化体験の提供・販売方法を整理しながら、収穫体験や食・温泉、まち歩き等松代のコンテンツを繋ぎ合わせ、魅力的な滞在コンテンツを造成する。 	Eバイクツアー造成・販売 体験ツアー検討・実施・販売			
中山間	中山間地域にある様々な地域資源を磨き上げ、それらを線で結び、観光客が中山間地域を周遊する仕組みを作る。	<ul style="list-style-type: none"> ○市の主導する現地リサーチによってプロジェクトを立案する ・中山間地域では、自然環境や里山暮らしなどの地域資源が高単価な宿泊コンテンツを生み出す可能性があると思われ、現時点ではこれを販売する事業者が不在の状態にある。今年度は、長野市が主導し、中山間地域における宿泊や体験事業者をリサーチし、事業者をピックアップし、関係主体とともに、実践プロジェクトを立ち上げる。 →飯綱地区から芋井地区周辺を巡る里山サイクリングコース造成 →鬼無里地区におけるEバイクを活用した里山サイクリングコースと体験メニュー等を組合わせたコンテンツの検討 →収穫体験等と宿泊を組み合わせたコンテンツの検討 	資源流出し 実施内容検討 現地調査 コース検討			

【重点政策における主な取組内容の実施計画】（長野市振興計画概要版 7ページから9ページ）

政策	施策	実施事業	実施内容	対象地域				年間スケジュール				年次目標		
				善光寺	松代	戸隠	中山間	6月	9月	12月	3月			
政策1 地域資源を最大限活かした誘客	1-1地域資源を活用した魅力的で多様なコンテンツの創出と流通促進	(1) 地域資源を活かしたコンテンツ開発の支援	・文化財を活用した散策コンテンツの開発 各文化施設と周辺の隠れた名跡・旧跡や地域資源を掘り起こし、それを組み合わせた散策コンテンツを開発する。	○					検討	発信・実施		各地区1コンテンツ以上開発		
			・文化財施設における伝統文化体験ツアーの造成・販売 これまでの着地型での提供に留まらず、発地型のツアーを造成することで、積極的に発信し誘客につなげる。また、伝統文化体験だけでなく、収穫体験や温泉などその他の素材を組み合わせたツアーにすることで、ツアーとしての魅力を高める。実施に際しては、地元旅行会社等と連携してツアーを造成・販売する。	○					素材検討・コース造成					
			・Eバイクを活用した地域の人を巡るツアーコースバリエーションの検討 松代地区において既に完成している地域の人と接しながら、収穫体験や文化体験、絶景スポットや歴史的名所を組み合わせた、名物ガイドによるガイド付きEバイクツアーについて、販売を開始する。 今後、ブラッシュアップを図るとともに、他地区においてもグルメ、歴史などテーマごとにコースを設定するなど、新たな商品の造成について検討する。	○					既存コース ブラッシュアップ	発信・実施	松代地区以外の地区検討			
			・文化財施設における伝統文化体験のメニューの整理・販売体制の見直し エコール・ド・まつしる倶楽部が真田邸や樋口家住宅などで提供している箏や投扇興などの伝統文化体験について、スタッフの質の向上を図るとともに、体験料を適正にし、質の高いコンテンツを提供することで、お客様の満足度を上げ、地域やコンテンツの価値を高める。	○					メニュー整理・検討	実施				
			・真田信之松代入部400年に係る誘客イベントの開催 次の事業を実施し、今後も継続的に実施することで誘客に繋げていく。 ①寺宝公開 町内寺社と連携し、真田信之に纏わる御霊屋などの寺宝を特別公開するツアーを造成し、販売する。 ②歴史ゲームを題材としたEスポーツ大会を、文化施設で開催し、若者の誘客を図る。	○						実施				
			・大室古墳を活用した誘客の検討 意外と知られていない大室古墳の価値を掘り起こし、発信・誘客の方法を検討する。 例) 縄文人の恰好をしながら古代米を使った古代弁当を大室古墳で食べるツアーなど	○						検討				
		・アウトドアの開発 森の駅Daizahoushiを中心に、戸隠や周辺中山間地域を繋げたEバイクのコース造成やアウトドアコンテンツを開発する	○						開発・造成					
		・「旅マエ」「旅ナカ」「旅アト」での地域人材とのつながりを活かしたコンテンツ開発			・宿坊と連携した滞在コンテンツ開発 善光寺のお坊さんによる39のおすすめとして動画制作し発信するとともに、その後もSNSで繋がり、リピーター獲得を図る。	○					発信・実施		各地区1コンテンツ以上開発	
					・地元農家と連携した収穫体験(杏・長いも)ツアー開発 単に収穫するだけでなく、地域のストーリーと掛け合わせたツアーを造成する。 例) 豊姫が杏をもたらし以降400年守り育てられた話や、台風災害から復興した長いも畑の話など 例) 自分で採った長いもを、温泉に入っている間に調理してくれる など	○					開発・造成			
					[再掲] ・Eバイクを活用した地域の人を巡るツアーコースバリエーションの検討 松代地区において既に完成している地域の人と接しながら、収穫体験や文化体験、絶景スポットや歴史的名所を組み合わせた、名物ガイドによるガイド付きEバイクツアーについて、販売を開始する。 今後、ブラッシュアップを図るとともに、他地区においてもグルメ、歴史などテーマごとにコースを設定するなど、新たな商品の造成について検討する。	○					既存コース ブラッシュアップ	発信・実施		松代地区以外の地区検討
・アイディアソンの開催 地域外の人々が松代で宿泊し、参加者同士で松代の観光について一緒に考える、滞在交流型観光「アイディアソン」を開催し、地域に興味を持ってもらい、継続的に松代の人と関わってもらうための取り組みを実施する。	○								企画検討	実施		1コンテンツ以上開発		
・地産地消や地域産品、地域産材を活用したコンテンツ開発			・地産地消を促進するための宿泊施設との連携 長芋などの地域食材をメニューに加えることで、観光コンテンツ化として活用していく。	○					各事業者との調整	実施				
			・土産品の開発(柴石、古銭、松代一本ねぎの活用) お土産が少ないと言われる松代地区において、これまでであるお土産品のブラッシュアップや販路拡大を図るとともに、新たに地域の素材を活用したお土産商品を開発する。	○					開発	販売		1商品以上開発		
			・クラフトビールの販路拡大 地域内での販売店舗拡大に加え、地域外への販路を拡大し広くPRする。地域外への拡大については、デパートや、森の駅・道の駅などの交通拠点、銀座NAGANOのようなアンテナショップなどブランド力や集客力のある店舗を中心に進め、商品ブランディングを市場イメージを意識した戦略のもとに行う。	○					取扱店舗交渉	実施				

政策	施策	実施事業	実施内容	対象地域				年間スケジュール				年次目標		
				善光寺	松代	戸隠	中山間	6月	9月	12月	3月			
政策1 地域資源を最大限活かした誘客	1-1地域資源を活用した魅力的で多様なコンテンツの創出と流通促進	(1) 地域資源を活かしたコンテンツ開発の支援	・クラフトビールに合う地元食材を活用したメニューの開発 飲食店や宿泊施設と連携し、クラフトビールに合う地元食材を活用したメニューの開発を行い、クラフトビールとセットで販売することで、地元食材の認知度の向上とブランディングを進める。	○						事業者交渉・実施		-		
			・地産地消や地域産品、地域産材を活用したコンテンツ開発	○						事業者との調整	実施		-	
			・真田信之松代入部400年記念を活用した土産品の開発 真田信之に関する土産品を開発し、真田信之や松代の歴史をPRし、真田ファンや歴史好きなどの松代への誘客と満足度の向上を目指す。 例)真田信之末裔・真田家14代当主コラボ御城印など	○							開発	販売		-
			・ワーケーションを促進するコンテンツの開発		○						開発・造成	告知・販売	1コンテンツ以上開発	-
			・令和元年東日本台風災害被災地の復興、活性化のためのホームページ・ツーリズムの推進	○								協議調整・販売協力		-
	(2) 観光コンテンツの提供体制の構築と広域連携	・視察受入への連携協力 地域の受入体制の整備に合わせて、ながの観光コンベンションビューローと連携しながら旅行会社へプロモーションを実施する。	○										-	
		・各観光協会間の情報共有促進 各観光協会での誘客事業を共有し、連携してプロモーションや販売体制を構築する。	○								連携・協力推進		-	
		・文化財を活用した散策コンテンツの開発 各種文化施設と周辺の隠れた史跡・名跡や地域資源を掘り起こし、それを組み合わせた散策コンテンツを開発する。	○								検討	発信・実施	-	
		・まち並みや里山などの景観の保全及び観光コンテンツ化	○							既存コース ブラッシュアップ	発信・実施		-	
		・Eバイクを活用した地域の人を巡るツアーコースバリエーションの検討 松代地区において既に完成している地域の人と接しながら、収穫体験や文化体験、絶景スポットや歴史的名所を組み合わせた、名物ガイドによるガイド付きEバイクツアーについて、販売を開始する。 今後、ブラッシュアップを図るとともに、他地区においてもグルメ、歴史などテーマごとにコースを設定するなど、新たな商品の造成について検討する。		○							松代地区以外の地区検討		-	
1-2地域を守り、未来へつなぐ観光振興	(1) 観光を通じた歴史・文化、自然資源の保全と情報のシェア(価値の伝達と共有)	・まち並みや里山などの景観の保全及び観光コンテンツ化	・里山の暮らし、文化の発信 地域の文化をSNS等で紹介し、来訪者の増加を目指すとともに、収穫体験やEバイクと宿泊を組み合わせたツアーやコンテンツを開発する。						○	資源洗い出し	開発・造成	-		
	(2) 観光における温室効果ガスの排出抑制	・Eバイクを活用したサイクリングコースの開発 ・観光関連事業者へのゼロエミッション普及・啓発	[再掲] ・Eバイクを活用した地域の人を巡るツアーコースバリエーションの検討 地域の人と接しながら、杏・長いもなどの収穫体験や松代焼き体験、松代の絶景スポットや歴史的名所を組み合わせた、名物ガイドによるガイド付きEバイクツアーについて、販売を開始する。アンケートにより出た課題を踏まえながら、ブラッシュアップを図るとともに、グルメ、歴史などテーマごとにコースを設定するなど、新たな商品の造成について検討する。 ・事業者向けの講演会等の研修会実施 事業者の意識向上のため、ゼロエミッションやSDGsに関する研修会を実施する。						○	既存コース ブラッシュアップ	発信・実施	-		
1-3コミュニケーションを通じたファンづくり	(1) ファンづくり、周遊促進に向けたコンシェルジュ機能の強化	・長期滞在/ワーケーションの全市的な集約とプロモーション ・デジタルマップ等を活用したまちなかの環境配慮型の宿や店舗の宣伝	・対応施設の情報収集、集約 地域資源を活用した宿坊帳(ハーフレット)を作成し、各種ツアーやコンテンツを提供する。その情報をホームページ等で効果的に発信する。						○		情報発信 情報収集・集約	-		
	(2) 長野市の魅力をつたえるコミュニケーション	・Z世代に向けた、環境配慮型観光地としての長野市のプロモーション ・SNSを通じたまちなか周遊の楽しみ方の発信	・デジタルツールを活用した効果的な情報発信 各地域特有の素材を活用し、おすすめ店舗等効果的に発信する。 ・観光協会SNSの発信体制の構築 地元ならではの情報やリアルタイムの情報など、お客様の目線と近い視点で、継続的に発信することで、ファンの獲得を目指す。						○		発信 情報、素材収集	-		

政策	施策	実施事業	実施内容	対象地域				年間スケジュール				年次目標
				善光寺	松代	戸隠	中山間	6月	9月	12月	3月	
政策2 魅力を活かしたインバウンドの推進	2-1長野市の特長な資源を活かしたコンテンツ開発・環境整備	(1)	歴史・文化、アクティビティ等の地域資源を活用したコンテンツ開発	・歴史・文化を楽しむ体験型コンテンツの開発 ・サイクリング旅行商品の販売 令和3年度の販売状況を分析。在日旅行会社を招請して商談会を実施し、OTAの掲載・販売を実施する。	市が中心となり、関係各所と連携しながら実施	商談会実施・商品販売				-		
		(2)	冬季のコンテンツ開発	・冬の魅力が伝わる地域資源を組み合わせたコンテンツ開発 ・戸隠の冬のコンテンツの開発・販売 民間事業者が販売する戸隠の冬のコンテンツ開発を支援する。		企画・商品販売				1コンテンツ以上開発		
		(3)	広域連携による周遊コンテンツの開発	・全市的なデジタル周遊マップの多言語整備 ・サイクリングマップの電子化 既存の掲載マップの多言語整備を検討するとともに、電子化を図る。		マップの整理・多言語化				-		
		(4)	外国人観光客が快適に滞在できる受入環境整備	・音声ガイドアプリの活用 ・オーディオガイドの運用、ブラッシュアップ 令和3年度に整備したオーディオガイドが円滑に運用・周知できるようにするとともに、運用後のブラッシュアップ・改善点を洗い出す。		運用開始・改善				-		
	2-2ターゲットに届く効果的な情報発信	(1)	ターゲット市場への情報発信の強化	・海外に向けた地域の魅力の動画発信 ・トップセールスによる映像制作・発信 令和4年度新規事業のトップセールス事業について、事業者選定し、四季を通じて魅力ある映像制作等を行う。合わせて、制作した映像を国内外に発信する。		映像制作・発信				-		
		(2)	他市町村と連携した情報発信	・北陸新幹線沿線及び県内自治体と連携した情報発信 ・金沢市、近隣市町村と連携した情報発信		招請・セールスコール実施				-		
	大政 施策 3 か し オ リ ン ピ ッ ク シ レ ヨ ン の 誘 致 を 最 大 限 度 で 推 進 す る	3-1コンベンション誘致の強化	(1)	コンベンション誘致やエキスカッションの強化		・オリンピック施設等を活用したコンベンション活動の強化 ・助成事業の強化 これまで実施していた開催助成金を増額し、新たなコンベンションを誘致する。	ながの観光コンベンションビューローで実施	情報収集・発信				-
			(2)	コンベンション参加者への情報発信		・コンベンション等参加者への観光情報の発信と周遊促進策実施 ・参加者への情報発信の強化 改めて家族等で訪れてもらえるよう、本市の魅力や観光情報を発信するとともに、周遊促進策を検討し、実施する。						-
す 政 策 基 盤 4 盤 の 推 進 に よ り 快 適 な 滞 在 環 境 の 構 築 を 実 現 す る	3-2地域資源を活かしたフィルムコミッションの強化	(1)	フィルムコミッションの強化とロケツーリズムの推進	・ロケツーリズムの推進 ・ロケ地等の情報発信強化 これまで行われたロケ等の情報をホームページやSNSを活用して情報発信する。	市が市内関係各課と共有	情報収集・発信				-		
		4-1 DXの推進による快適な滞在環境の構築	(1)	快適に滞在できる環境整備		・キャッシュレス環境の整備に向けた協議、検討 ・導入に向けた情報共有 各種キャッシュレス環境の整備のための国の補助制度や動向の情報を収集するとともに市内や各観光協会と共有する。	市とNCVBで連携しながら実施	情報分析・活用方法検討				-
	(2)		快適な滞在を提供するためのマーケティングシステムの構築	・顧客データベースシステムの構築及びビッグデータ活用の検討 ・デジタルマップ利用者、ながのファンクラブ等の顧客データ分析 滞在時間、場所等のデータを分析し、人気の店やスポットの情報を取得し、今後のプロモーションに活用する。					-			
	4-2災害に強い観光都市基盤の構築	(1)	災害など緊急時の対応力強化	・観光危機管理マニュアルの情報共有、危機管理体制の強化 ・情報連絡体制の確認、点検 自然災害等の有事の際に、観光危機管理マニュアルに沿った適切に対応できるよう情報連絡体制を確認、点検するとともに、必要に応じてマニュアルを改訂する。	○ ○ ○ -	情報伝達体制確認				-		
(2)		安全な観光地づくり	・感染症対策の支援、情報共有 ・チラシ配布、情報発信への協力 各事業者が状況に応じた適切な対応が取れるよう、各観光協会を通じて情報を提供する。	○	情報共有、発信				-			